

前回議事への対応

日時：平成 29 年 10 月 24 日（火）18：00～20：00

場所：日野市役所 505 会議室

日野市生物多様性地域戦略（案）の確認について

- ・ 日野市の生きものについて

要点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2 の P27 について、「一方で河川環境には外来種のシナダレスズメガヤや、～」とあるが、シナダレスズメガヤが繁茂した原因を入れてほしい。 ・ 資料 2 の P30 について、「朽ち木を餌として利用するナガゴマフカミキリや、朽ち木に生えるキノコを餌とするルリオオキノコ～」とあるが、「朽ち木」という単語は前に出ているので不要である。 ・ 生きものの写真は生体写真の方がよい。 ・ 資料 2 の P31 について、「草地ではチガヤやススキを餌とするショウリョウバッタモドキやクルマバッタ、ギンイチモンジセセリといった希少な昆虫類、～」とあるが、ギンイチモンジセセリとヤホシホソマダラを入れ替えた方がよい。 ・ 資料 2 の P31 について、生きものの写真の紹介に「河川で見られる昆虫類」とあるが、「河川敷」とする方がよい。 ・ 資料 2 の P39 について、「現地調査から得られた生きものの特徴」に「ヘラクヌギカメムシ」とあるが、「クヌギカメムシ」とした方がより一般的である。 ・ 資料 2 の P40 について、「生息環境区分 3：低水敷の落葉樹林」とあるが、高水敷が正しいのではないか。 ・ 資料 2 の P40 について、「現地調査から得られた生きものの特徴」の文中に「昆虫類は樹林で生活するトンボ類、～」とあるが、トンボ類はそれほど樹林性ではないので、「樹林で生活するコウチュウ類」とするとよい。さらに、「マメ科を食草とするホシハラビロヘリカメムシとマルカメムシ、～」とあるが、「ホシハラビロヘリカメムシ」よりは「マルカメムシ」が、「ホシハラビロヘリカメムシ」は「オジロアシナガゾウムシ」とした方がより一般的である。 ・ 資料 2 の P42 について、とうかん森のムクノキは切られている可能性があるので、確認が必要である。 ・ 資料 2 の P44 について、「外来植物の繁茂」にある「礫河原の再生地」は「礫河原の再生工事による」という表現にした方がよい。 ・ 資料 2 の P32 について、メダカは全国的に遺伝的攪乱が問題になっているので、載せない方がよい。 ・ 資料 2 の P32 について、カジカは、最近稚魚は見えていない。生息するとい
----	---

	<p>うことは世代交代が条件であるので、カジカは載せない方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の P32 について、カワムツは琵琶湖産のアユと一緒に入ってきたものであり、国内外来種と表示するなどの検討が必要ではないか。 資料 2 の P32 について、メダカとカジカの代わりに、ウグイとアブラハヤとギンブナを追加したらよい。
対応方針	<p>日野の生きものについて表現の変更・修正を行った。また、昆虫の種名は原則として日本産野生生物目録（環境庁、1995）に準拠して記載している。</p> <p>資料 2 (P22～45)</p>

・取組の体系、行動計画について

要点	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の P57 について、「各主体の役割」の「市のシンボルとなる魚・昆虫を検討します」は、「市の魚・昆虫の指定を検討します」とするのがよい。 資料 2 の P57 の江戸前アユについては、日野で獲れたアユであれば郡上アユになると思うが一般的ではないので、献上アユがよい。 各基本方針の項目について、(1) を「取組の方向」、(3) を「各主体の取組」とするのがよい。
対応方針	<p>取組の体系、行動計画について表現の変更・修正を行った。資料 2 (P54～84)</p>

・重点プロジェクトについて

要点	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に分かりやすい文章にするように。 資料 2 の P84 の重点プロジェクト 5 について、雨水浸透すると湧水が増えるような印象を受ける。「スケジュール」に「広域的な湧水の保全方法の検討」とあるが、雨水浸透すると湧水が保全されるわけではない。 資料 2 の P84 の重点プロジェクト 5 について、市の報告と矛盾しないようにする必要がある。
対応方針	<p>いただいた意見をもとに、重点プロジェクトについて、全体的に文章を見直し、表現の変更などを行った。資料 2 (P85～89)</p>

・その他について

要点	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の P24 の表 2-4「文献調査で確認された生きものの結果」は、追加した文献が反映されてないのではないか。 資料 2 の P25～34 の生きものの写真の「外来種」という文字が見にくい。
対応方針	<p>資料 2 の P24 の表 2-4「文献調査で確認された生きものの結果」は、データを取りまとめ追加した。その他、いただいた意見をもとに、全体的にデザインの見直しを行い、表現の変更などを行った。資料 2 (P23,24～33)</p>

日野市生物多様性ホットスポットマップについて

要点	<ul style="list-style-type: none"> 資料 3 の図について、日野用水の取水口は多摩川の平堰で、図の左上の川幅が広がっているところである。平堰まで線を伸ばすのが正しい。 日野市で最も自然が残っているのは多摩川の河川敷である。市としても保全を進めてほしい。 環境が悪化した場所についても、対策をきちんとやってもらうという意味でもホットスポットとしておく。 「17：多摩大橋下流部右岸」は国交省が自然再生として、攪乱を起こして河原の再生をしようとした場所である。その位置づけを説明した方がよい。 「その他の日野市らしい自然環境」は、ピックアップした理由を丁寧に説明した方がよい。 「18：多摩平の森」が「関東地方では貴重なモミ林」は「武蔵野台地では」とする方がよい。 「17：多摩大橋下流部右岸」の生態系保持空間について、後ろに説明を加えた方がよい。 生態系保持空間は、国交省に指定された年度を入れた方がよい。 ホットスポットマップで、日野市の生物多様性にとって重要な場所を示しておく、抑止力になる。
対応方針	<p>ホットスポットマップは地域戦略に掲載することとし、いただいた意見をもとに変更・修正を行った。用水の位置図は「日野市 河川・水路図」の引用であるため、取水口の位置は修正せずにこのままとした。</p> <p>資料 2 (P46～47)</p>

生物多様性地域戦略の名称について

要点	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの反応が最もよいと思われ、未来に託すという意味合いもある「ひの生きものいっぱい計画」がよいと思う。 プランよりプロジェクトという言葉の方が、実際に実行していくという印象がある。「ひの生きものいっぱい計画」も「ひの生きものいっぱいプロジェクト」でよいと思う。 正式名称は地域戦略となっている。計画、プラン、プロジェクトはつけなくてもよい。 プロジェクトやプランという言葉を入れない方がよい。 生きもののあり方をプランニングするという意味で、「⑥ひの生きものプラン」がよい。
対応方針	<p>多数決をとった結果、名称は「ひの生きものプラン」とした。</p>